令和2年7月 豪雨災害

猛威を振るう豪雨 市内全域に警戒レベル４ 避難指示（緊急）を発令

滝町の法面崩壊（土石流）のようす

7月3日から8日にかけて日本付近に停滞した梅雨前線の影響で、暖かく非常に湿った空気が継続して流れ込みました。そのため、断続的に雨が降り続き、市内の連続雨量は7月3日～15日までに938.5ミリに達し、各地で大きな爪痕を残しました。
　気象庁は、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、今回の豪雨を「令和2年7月豪雨」と定めました。

避難指示を市内全域に発令

　7月7日午前8時15分、岐阜県と岐阜地方気象台が「土砂災害警戒情報（※1）」を発表しました。市では、土砂災害の警戒が高まったとして、午前9時に災害対策本部を設置。また、午後1時37分に、奥飛騨温泉郷地域の一部に警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始（※2）を発令し、その後、警戒レベル4 避難勧告（※3）を発令。降り続く雨により、朝日町、高根町、丹生川町、荘川町、高山地域の一部と一之宮町の全域へも警戒レベル4 避難勧告を発令しました。
　7月8日午前6時30分、大雨特別警報（※5）が発表され、市内全域3万5，910世帯8万6，985人に警戒レベル4 避難指示（緊急）（※4）を発令しました。断続的に降り続いた雨は、各地の交通網を遮断し、朝日町や上宝町・奥飛騨温泉郷、一之宮町、高根町、丹生川町の一部が孤立しました。
　7月9日午後1時30分には、土砂災害警戒情報が解除されたため、市内全域に発令していた警戒レベル4 避難指示は解除しました。しかし、7月11日午後5時30分に再び土砂災害警戒情報が発表されたため、高根町の一部に警戒レベル4 避難勧告を発令しました。

朝日町西洞：市道西洞線路肩崩壊

災害対策本部では、各支所や消防署員とテレビ中継で状況を確認しながら対応にあたりました。

用語解説

※1 土砂災害警戒情報
　大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、自治体の避難勧告発令や住民の自主避難の判断を支援するため、岐阜県と岐阜地方気象台が共同で発表し、警戒を呼び掛けるもの

※2 警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始
　事態の推移によっては、避難勧告などの発令を行うことが予想されるため、避難に時間がかかる高齢の方や障がいのある方などは安全な場所へ避難、その他の方は避難の準備します。

※3 警戒レベル4 避難勧告
　災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合に発令する勧告

※4 警戒レベル4 避難指示（緊急）
　災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合に発令する指示

※5 大雨特別警報
　台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に気象庁が発表

防災無線の内容は電話でもご確認いただけます。☎0180-995-690（緊急ごーろくおん）